

## 5 / 1 2-4・5 財務会計 I 「5伝票の集計と転記」

映像資料はこちらから . . .



URL : <https://youtu.be/7rU5nMu8ctg>

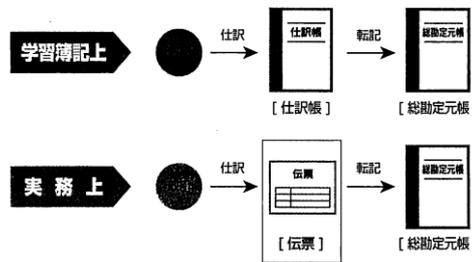
1 証ひょうと伝票

【1】証ひょう

帳簿への記入は、取引の事実を証明する資料にもとづいて行う。たとえば、商品の仕入取引は、仕入先からの納品書によって記帳する。このような取引の事実を証明する資料を**証ひょう**という。証ひょうには、相手方から受け取る納品書・領収証などや、当方が作成して相手方に渡す納品書・領収証・小切手などの控えがある。

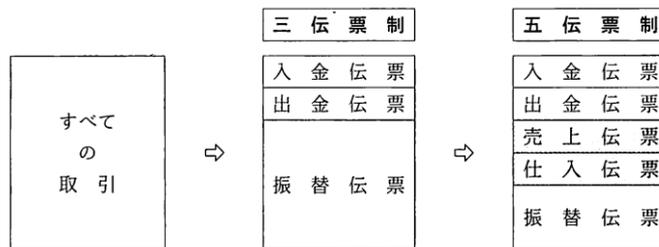
【2】伝票

伝票とは取引を記録(仕訳)する紙片(かみきれ)で、仕訳帳の代わりに用いられるものをいう。実務上は、仕訳帳よりも伝票を用いることのほうが多い。伝票に記入することを**起票**という。



2 3 伝票制と 5 伝票制

伝票には**入金伝票**、**出金伝票**、**振替伝票**、**仕入伝票**、**売上伝票**があり、どの伝票を利用するかによって**3 伝票制**と**5 伝票制**に分類される。



3 3 伝票制

3 伝票制とは**入金伝票**、**出金伝票**、**振替伝票**の 3 つの伝票を用いる方法をいう。

【1】入金伝票

入金取引を記入する伝票なので、仕訳上の借方科目は[現金]となる。入金伝票に記載される勘定科目は、仕訳上の貸方科目である。



入金伝票	
売掛金	798,000
受取手数料	24,000
当座預金	300,000
( )	( )

## 【2】出金伝票

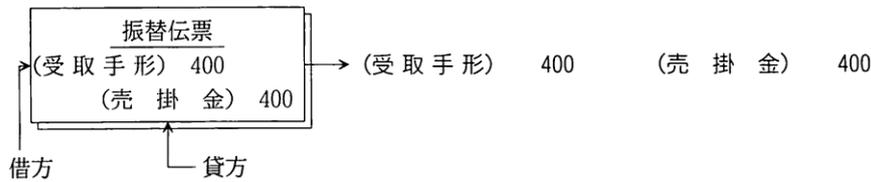
出金取引を記入する伝票なので、仕訳上の貸方科目は[現金]となる。出金伝票に記載される勘定科目は、仕訳上の貸方科目である。



出金伝票	
当座預金	419,000
買掛金	394,000
消耗品費	8,000
( )	( )

## 【3】振替伝票

入金取引および出金取引以外の取引を記入する伝票なので、振替伝票には仕訳上の借方科目も貸方科目も記入される。

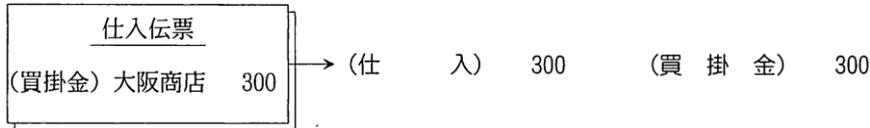


振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)	
支払手形	156,000	当座預金	156,000
当座預金	240,000	売掛金	240,000
消耗品費	15,000	当座預金	15,000
買掛金	501,000	支払手形	501,000
消耗品費	23,000	当座預金	23,000
( )	( )	( )	( )

5 伝票制とは、3 伝票制で利用した入金伝票、出金伝票、振替伝票の 3 つの伝票のほかに、**仕入伝票**と**売上伝票**を用いる方法である。

### 【1】仕入伝票

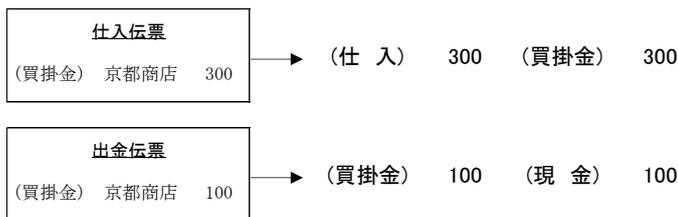
仕入取引を記入する伝票であり、仕訳上の借方科目は[仕入]、貸方科目は[買掛金]となる。



したがって、掛け以外の現金払いや小切手払いなどの仕入取引は、いったん全額を、掛けて仕入れたと擬制して伝票の記入を行うため、仕入伝票に[現金]や[当座預金]と記入されることはない。ただちに、買掛金を支払ったと考え、同時に入金伝票や振替伝票が作成される。

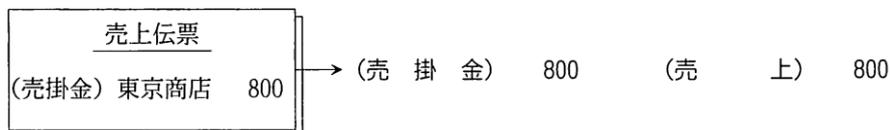
**【例】** 京都商店から商品¥300 を仕入れ、代金のうち¥100 は現金で支払い、残額は掛けとした。

(仕 入) 300	(買掛金) 200	→	(仕 入) 300	(買掛金) 300
	(現 金) 100		(買掛金) 100	(現 金) 100



### 【2】売上伝票

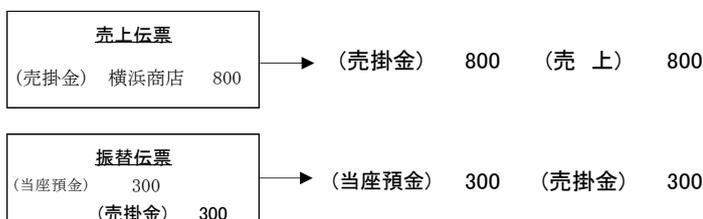
売上取引を記入する伝票であり、仕訳上の借方科目は[売掛金]、貸方科目は[売上]となる。



したがって、掛け以外の売上取引があっても、いったん全額を、掛けて売り上げたと擬制して伝票の記入を行うため、売上伝票に[現金]や[当座預金]と記入されることはない。ただちに、売掛金を受け取ったと考え、同時に入金伝票や振替伝票が作成される。

**【例】** 横浜商店に商品¥800 を売り渡し、代金のうち¥300 は同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。なお、残額は掛けとした。

(売掛金) 500	(売 上) 800	→	(売掛金) 800	(売 上) 800
(当座預金) 300			(当座預金) 300	(売掛金) 300



### 【3】返品と値引き

返品と値引きについては、本来、伝票に赤字で記入する。ただし、全商簿記検定2級ではゴシック体(太字)で、**[戻し(仕入戻し)]**や**[戻り(売上戻り)]**または**[値引き]**などと記入される。

仕入伝票			
(買掛金) 大阪商店 180	→	(買掛金) 180	(仕入) 180
戻し			

売上传票			
(売掛金) 東京商店 120	→	(売上) 120	(売掛金) 120
戻り			

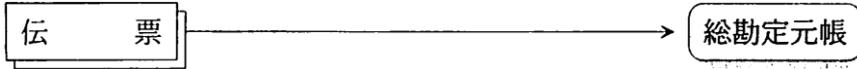
売上传票	
杉並商店 838,000	
新宿商店 749,000	
中野商店(値引) 26,000	
( ) ( )	

仕入伝票	
足立商店 562,000	
目黒商店(戻し) 36,000	
渋谷商店 679,000	
文京商店 734,000	

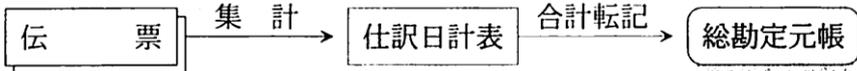
5 総勘定元帳への転記

伝票に行われた仕訳を総勘定元帳の各勘定へ転記するには、いろいろな方法がある。

【1】伝票から直接転記する方法



【2】伝票をいったん仕訳日計表に集計してから合計転記する方法



仕訳日計表とは、合計試算表の一種で 1 日分の伝票を集計する表をいう。

全商第 76 回 2 級検定問題

愛知商店の 6 月 / 8 日の略式の伝票から、仕訳集計表 (日計表) を作成しなさい。ただし、次の取引について、必要な伝票に記入したうえで集計すること。なお、仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法によっている。

取 引

6 月 / 8 日 豊田商店に商品 ¥430,000 を売り渡し、代金はさきに受け取っていた内金 ¥60,000 を差し引き、残額は掛けとした。

入金伝票	
売掛金	308,000
当座預金	213,000
受取利息	27,000
売掛金	186,000
( ) ( )	

出金伝票	
当座預金	251,000
買掛金	167,000
広告料	98,000
買掛金	132,000
( ) ( )	

売上伝票	
岡崎商店	235,000
瀬戸商店	386,000
豊川商店	143,000
安城商店(戻り)	25,000
小牧商店	274,000
( ) ( )	

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)	
買掛金	124,000	当座預金	124,000
受取手形	315,000	売掛金	315,000
当座預金	276,000	受取手形	276,000
広告料	153,000	当座預金	153,000
( ) ( )		( ) ( )	

仕入伝票	
豊橋商店	284,000
一宮商店(値引)	13,000
半田商店	265,000
西尾商店	34,000
稲沢商店	89,000
( ) ( )	

6/18 (売掛金)370,000 (売 上)430,000 (売掛金)430,000 (売 上)430,000 **売上伝票**  
 (前受金) 60,000 (前受金) 60,000 (売掛金) 60,000 **振替伝票**

》仕訳集計表の作成手続き《

①入金伝票の金額を合計し、その合計額を現金勘定の借方に記入する。

¥308,000 + ¥213,000 + ¥27,000 + ¥186,000 = [ ¥ ]

②出金伝票の金額を合計し、その合計額を現金勘定の貸方に記入する。

¥251,000 + ¥167,000 + ¥98,000 + ¥132,000 = [ ¥ ]

仕 訳 集 計 表

平成〇年6月/8日

借 方		勘 定 科 目		貸 方
	平	現 金	平	
		当 座 預 金		
		受 取 手 形		
		売 掛 金		
		買 掛 金		
		( )		
		売 上		
		受 取 利 息		
		仕 入		
		広 告 料		

③仕入伝票の金額(仕入戻し、値引きは除く)を合計し、仕入勘定の借方と、買掛金勘定の貸方に記入する。

$$¥284,000 + ¥265,000 + ¥34,000 + ¥89,000 = [¥ \quad \quad \quad ]$$

④仕入伝票の仕入戻し・値引きの金額を合計し、仕入勘定の貸方に記入する。 ¥13,000

⑤売上傳票の金額(売上戻り、値引きは除く)を合計し、売掛金勘定の借方と、売上勘定の貸方に記入する。

$$¥235,000 + ¥386,000 + ¥143,000 + ¥574,000 + \underline{¥430,000} = [¥ \quad \quad \quad ]$$

⑥売上傳票の売上戻り・値引きの金額を合計し、売上勘定の借方に記入する。 ¥25,000

⑦出金伝票の金額と振替伝票の借方票の金額を勘定科目ごとに分類・集計し、各勘定の借方に記入する。ただし、買掛金勘定の借方には仕入伝票の仕入戻し・値引きの合計額を加えた金額を記入する。

■当座預金:借方 出金¥251,000 + 振替¥276,000 = [¥ \quad \quad \quad ]

■受取手形:借方 振替¥315,000

■買掛金:借方 出金¥167,000 + ¥132,000 + 振替¥124,000 + 仕入値引¥13,000  
= [¥ \quad \quad \quad ]

■(前受金):借方 振替¥60,000

■広告料:借方 出金¥98,000 + 振替¥153,000 = [¥ \quad \quad \quad ]

⑧入金伝票の金額と振替伝票の貸方票の金額を勘定科目ごとに分類・集計し、各勘定の貸方に記入する。ただし、売掛金勘定の貸方には売上傳票の売上戻り・値引きの合計額を加えた金額を記入する。

■当座預金:貸方 入金¥213,000 + 振替¥124,000 + ¥153,000 = [¥ \quad \quad \quad ]

■受取手形:貸方 振替¥276,000

■売掛金:貸方 入金¥308,000 + ¥186,000 + 振替¥315,000 + ¥60,000 + 売上戻り¥25,000  
= [¥ \quad \quad \quad ]

■受取利息:貸方 入金¥27,000

⑨仕訳集計表の借方欄と貸方欄の各金額を合計し、合計額の一致を確かめてから締め切る。

[¥ \quad \quad \quad ]

